

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内) 電話03 (3563) 6744
URL: <http://www1.ocn.ne.jp/~cru>

労使セミナー



平成20年1月30日、ホテルラングウッドにおいて第23回労使セミナーを開催した。労使が抱える共通の問題点をテーマに、今年は組合側25名、企業側22名、計47名の参加で行われた。

今回は、東京労働局 労働時間設定改善コンサルタント 特定社会保険労務士 橋本智明先生を講師にお迎えし「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）と適正な労働時間管理による労働条件の維持改善」と題して講演をいただいた。

最初に昨今盛んに叫ばれている「仕事と生活の調和」について、法的側面からの説明に始まり、確立させるには労使協力が不可欠であり、時代の要請であると述べた。

また時間外・休日労働を削減するには最初は低い目標を掲げ、職場内でコミュニケーションを十分に取りながら達成していくことが、大きな

成果につながる。また徹底した健康管理・有給休暇取得促進の効果について述べられ、実践することにより企業として業務の効率化・人材の育成につながるメリットがあるとした。

適正な労働時間と維持改善については様々な事例を挙げながら説明いただき、企業側の責任と労働組合の役割を改めて感じさせる内容であった。

最後にポイントとしてこれらの問題を解決するには、

1. 大きな権限を持った人が責任をもってやる。
2. みんなの意見を聞く（プロセスの開放性）
3. 風通しを良くする（プロセスの透明性）

が大切であるとし、そのような労使協議の場をつくることにより従業員にとっても働きやすく、会社にとっても利益につながる職場づくりができると力説された。

道路建設産業に未だ回復の兆しの見えず、厳しい環境を乗り越えるには労使が協調しあうことが必要である。労働側・企業側も今回のセミナーを参考にし、認識を新たに持ち、魅力ある道路建設産業を創造していきたい。

第23回定期大会・単組支援セミナー開催のお知らせ

道建労協の定期大会及び単組支援セミナーを下記の通り開催します。

各単組代表の代議員の皆様による活発な意見・討議を期待しております。

また、単組支援セミナーは、各単組代表たる皆様の今後に必ず役立つものと思います。皆様のご出席をお待ちしております。

記

日 時：2008年7月22日（火） 定期大会 13：30～16：00

単組支援セミナー 16：00～17：30

場 所：ホテルラングウッド 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

単組支援セミナー

テーマ：「裁判員制度について」

講 師：東京地方検察庁 総務部副部長検察官 検事 吉田 正喜 様

「言葉」

私の会社は、最近話題にもなっていない秋葉原なのですが、秋葉原でイメージするものは何でしょうか？

電気街、メイド喫茶、オタクの街など・・・色々思い浮かびますが、やっぱり私の中では、オタクの街というイメージが強いのです。実際にテレビで見ると、リユックを背負って、紙袋を持っているという人を多々見かけられます。

前に会社の飲み会の場で、「オタク」と「マニア」の違いは、分かる？という質問を聞かれた事があります。2つの言葉の違いだけで、意味は同じ。確かに違いは？と聞かれると即座に答えは出てきませんでしたが、よく考えた結果、まず「オタク」という言葉は、周りの人に便乗されて同じようなものに夢中になる人、また集団。リユックを背負い、紙袋を持っているような人。が想像されます。もう一つの「マニア」という言葉は、「オタク」とは逆で、周りの人に便乗されず自分の趣味が人に負けないくらいの知識を持った人。集団というより個人に限定される言葉ではないかと思えます。

皆さんは、この2つの言葉の違いは分かりますか？

普段使っている言葉の中にも言葉は違うけど、意味は同じというような言葉は沢山あると思います。是非この機会に皆さんも考えてみて下さい。

東京舗装工業社員労働組合

杉原 慶太

フリー
ウェイ

地協のない地域の交流会



北陸地協

平成20年6月18日（水）、北陸地区交流会が新潟東映ホテルにて、本部役員3名4単組8名の参加により開催されました。

今回の議題は6月ということもあり、土曜閉所強調月間の取り組みや、時短・休日取得問題について意見交換がなされました。

また降雪地域でもありますので冬期の人員配置・消化体制についても意見交換を行いました。普段はなかなか交流ありませんが、同じ業界で働く仲間として交流を大切にしたいと思います。

これからの道路建設産業を盛り上げていくには、若い力が必要です。次世代を担っていく若い力を逃すことなく、我々が魅力ある職場環境を作っていかなければならないことを再認識致しました。そして次回は若手職員も参加させ、自由な意見交換と交流を行いたい旨の発言があり、全単組が賛成し、次回開催を更に有意義な会となることを誓い、閉会となりました。

北陸地域交流会 幹事 沼田 賢一
(前田道路労働組合)



平成20年6月19日（木）ホテルコムズ仙台にて、東北地区交流会が開催されました。当日は6単組22名、本部役員3名、合計25名が参加し、全員の自己紹介後、事務局より道建労協の活動報告が紹介され、和やかな雰囲気の中で交流会が始まりました。

討議内容は、労働環境における問題点として、土曜閉所強調月間の取り組みや長年に渡って問題となっている時短・休日所得問題および業務応援について、そして、東北地方ならではの地域特有の問題や人員確保について各単組の取り組みを紹介しながら、活発な意見交換が行われました。今回も女性の参加者が9人と多く、女性の観点から屈託のないご意見やご要望などを頂き、有意義な交流会でした。

そして、会議終了後懇親会が開催され、交流のない他単組の方との意見交換や情報交換が行われ、参加者の交流を深めました。最後に、こうした交流会を継続することで、建設業の労働環境の改善および業界の発展に繋がるのではないかと感じつつ閉会となりました。

東北地域交流会 幹事 蓮田 秀仁
(NIPPO労働組合)



東北地協



国交省工事担当者アンケート結果報告

今回の道建労協加盟単組による「国交省工事担当者」アンケートの結果から、工期的に余裕がない、突貫工事を強いられたとの回答が目立ち、不満に思うことは、時間外労働・休日出勤、継いで人員配置への不満が多い。また住民対策が大きな負担となっている。

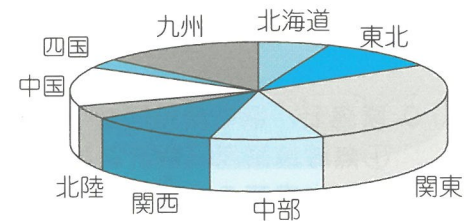
Q.1 勤務地を選んでください

北海道	東北	関東	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	合計
10	17	47	16	19	7	22	5	23	166

Q.2 請負形態について

- ①単独 ②JV（2社）
③JV（3社） ④JV（4社以上）

①	②	③	④
161	4	1	0



Q.3 変更増減まで含めた請負金額の概算（JVの場合は総額）

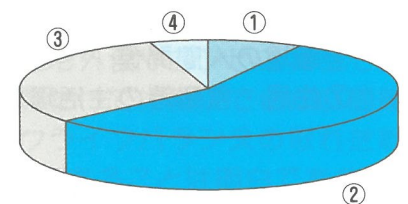
- ①10億円以上 ②5億円以上10億円未満
③3億円以上5億円未満 ④1億円以上3億円未満
⑤1億円未満

①	②	③	④	⑤
5	11	29	114	7

Q.4 実質工期について

- ①3ヶ月未満 ②3ヶ月～6ヶ月
③6ヶ月～1年 ④1年以上

①	②	③	④
2	16	105	43



Q.5 上記工期について選んでください

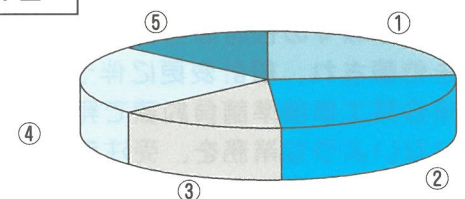
- ①工期的に余裕があった ②余裕は余りないが適正
③突貫工事を強いられた ④工期内に終わらなかった

①	②	③	④
13	90	51	8

Q.6 工事形態について

- ①全て昼間施工
②殆ど昼間施工、夜間一部
③中・夜間施行が同じくらい
④夜間施工が多い
⑤全て夜間施工

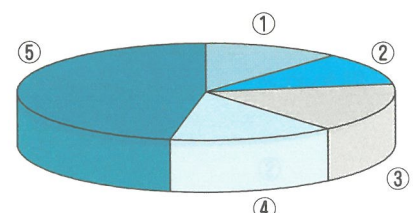
①	②	③	④	⑤
39	42	24	38	12



Q.7 あなたは担当者（代理人、主任技術者、管理技術者）として国交省工事は何回目ですか

- ①初めて
②2回目
③3回目
④4回目
⑤5回以上

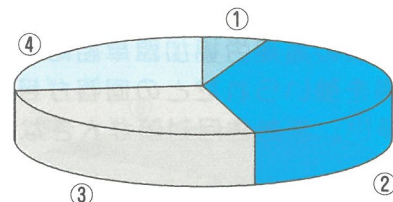
①	②	③	④	⑤
19	18	27	23	77



Q.8 今後、国交省工事を担当したいと思いますが

- ①是非担当したい ②担当しても良い
③出来れば担当したくない ④担当したくない

①	②	③	④
9	66	46	44



Q.9 現在あなたの現場に人員配置は適切な人数ですか

- ①適切である
②適切ではない

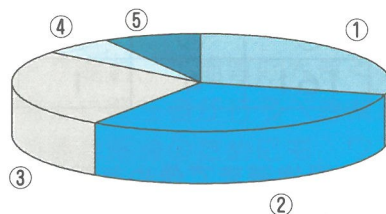
①	②
91	75

Q.10 業務上、最も負担になっていることは何ですか？

- ①無報酬業務（設計図書の作成）
②提出書類の多さ ③住民対策
④不規則な施工（昼夜間工事）
⑤その他

協議の回答待ちが多く施工が止まる 経験技術者不足 等

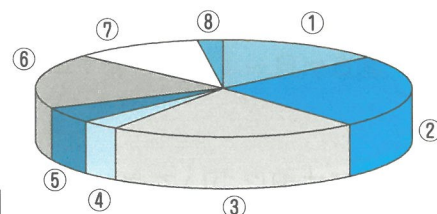
①	②	③	④	⑤
38	40	34	8	11



Q.11 働いていて強く不満に思っていることは何ですか。（複数回答可）

- ①給与所得 ②時間外労働 ③休日の取得
④職場の人間関係 ⑤会社の経営方針 ⑥人員配置
⑦住居・食事等の生活環境 ⑧特にない

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
57	100	87	14	21	75	46	9



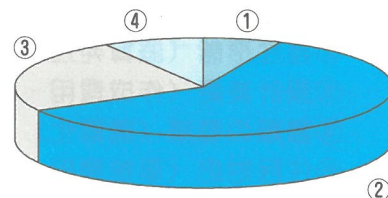
これらは提出書類の多いことから繋がっている。書類の簡素化が唱われて久しいが改善されていないのが現状である。電子納品化は書類の簡素化みになると言うことで取り入れられたはずであるが、その要はなしていないようである。また設計図書の作成業務など俗に言う無報酬業務が大変多いとされ、それらに割かれる時間は我々の長時間労働にも繋がっている。概算発注による設計図書と現地との整合性が取れず図面の修正を依頼され、設計変更に伴う工法検討や、設計図面などの作成、構造計算などを無償で依頼されるなど、本来公共工事標準請負約款で発注者が行うべきとされている業務や、契約上の責任区分がはっきり明示されていないような業務を、受注者が無償で引き受けてしまっている現状である。この状態では時間外労働・休日出勤が減らないのは当然ではないだろうか。

次に、住民対策であるが、行政から住民に対しての説明不足や、対応を施工業者任せにしており、住民からの苦情はそのまま横流しである。近年の周辺住民は行政に言えば何でもやってくれると勘違いをしているようになり、当然工事を行えば渋滞や騒音は発生するのであるから、行政から住民に対しての指導教宣も必要と思われる。

Q.12 Q.9～Q.11の問題に対して、あなたの会社は相談出来る体制にありますか。

- ①出来る体制にある ②ある程度は出来る
③ほとんど出来ない ④全く出来ない

①	②	③	④
11	99	40	14

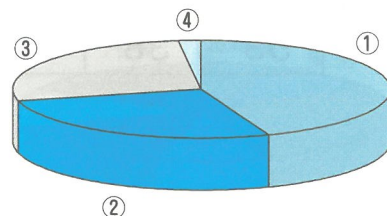


Q.13 あなたの会社に具体的に言ってほしいことは？

- ①現場への適正な人員配置
②上位部署のフォロー（教育・現場把握）について
③ほとんど出来ない
④その他

リストラによる人員整理、工事事務所拠点の設置

①	②	③	④
66	40	40	3

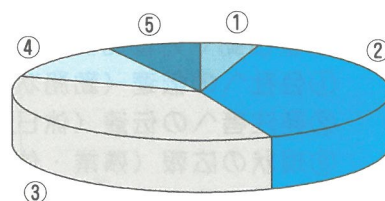


会社への要望として、人員の適正配置を望む声が多い。これは、先ほどのべた発注者の要望事項の多さや、予算の関係で少数の人員でやらざるを得ない状況になっているからである。タイトな工程での発注や、発注者・住民との協議、調整にも多大な労力が取られ人員の不足感も大きくなっているようである。会社に対する要望として一番切実なのは上位部署のフォローではないだろうか。現場との孤軍奮闘する従事者に対して的確なアドバイスや支援を望む声や、事前教育に注力し高戦力としての人材の配置を望む声も高い。現在人員不足もあり現場では相変わらず休日の取得が困難である。また、現場駐在（昼夜施工など）で二重生活を余儀なくされ生活費なども苦しいという若手技術員の声も多散ある。食事なども外食やコンビニ弁当で済ませる者も多く、健康管理面でも今後大きな課題ではないだろうか。決して会社だけでは解決できない問題も多くあるが、出来ることからやるとすれば、予算管理も大事であるが、ワークライフバランスの取れた職場環境にするために、先ず人員の適正配置と、上位部署の的確なフォローが重要であることは明白である。

Q.14 設計変更について、適正に変更してもらっていますか

- ①満足している（95%～100%認められた）
②ほぼ満足している（80%～95%認められた）
③不満である（60%～80%）
④大いに不満である（60%以下）
⑤わからない

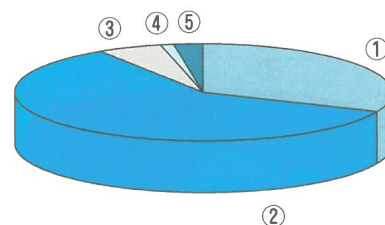
①	②	③	④	⑤
8	64	59	20	13



Q.15 発注者とのコミュニケーションはいかがでしたか

- ①良好であった ②普通 ③余りなかった
④険悪であった ⑤わからない

①	②	③	④	⑤
51	96	9	2	4

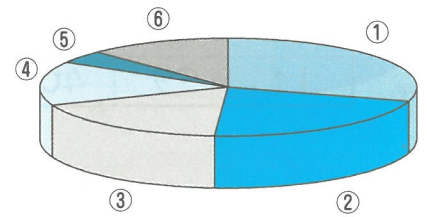


Q.16 Q.10やQ.14・Q.15の問題に対して、発注者である官庁に具体的に行って欲しい施策や対応を記入して下さい。

- ①打合せ簿（協議資料の簡素化・ワンデーレスポンス）
- ②発注形態（概算発注の廃止・当初設計の確立）
- ③設計変更（作成費用・積算の見直し）
- ④書類の低減（簡素化）
- ⑤住民対応（事前説明・苦情の関与）
- ⑥その他・特になし

発注者の関係確立、担当者の格差等

①	②	③	④	⑤	⑥
53	38	32	26	7	22

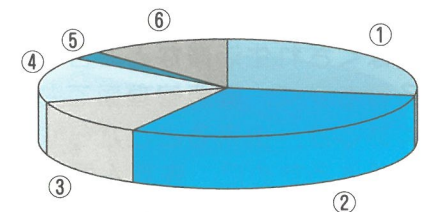


近年「ワンデーレスポンス」が浸透しつつあるが、未だに協議の回答や指示が遅れ、工期等に大きく影響されているのが現状であり、また協議資料の作成についても、過剰な資料の要求や発注者が行うべき業務まで要求されている為、受注者の大きな負担となっているのが伺える。これらの負担解消のためにも、ワンデーレスポンスのさらなる確立と協議資料の簡素化、書式の統一等が必要と思われる。

Q.17 休日取得や労働時間の時短を進めるために、今後望まれる点は何ですか。（複数回答可）

- ①適正な人員配置
- ②提出書類の削減
- ③法律などによる規制
- ④業務内容の改善
- ⑤職場の話し合い
- ⑥協力会社の育成

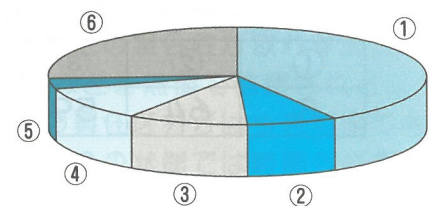
①	②	③	④	⑤	⑥
114	128	49	62	11	50



Q.18 休日出勤や労働時間の短縮を進めるために、労働組合に今後望まれる活動は何ですか。

- ①会社への伝達（勤務状況・人員不足等）
 - ②発注者への伝達（休日出勤するような要求等）
 - ③現状の広報（残業・休日出勤）
 - ④業界全体での体制改革
 - ⑤会社への強い要求
 - ⑥その他・特になし
- 期待していない等

①	②	③	④	⑤	⑥
48	9	12	13	4	30



Q.19 道建労協で取り組んでいる、6月・11月の土曜閉所強調月間を

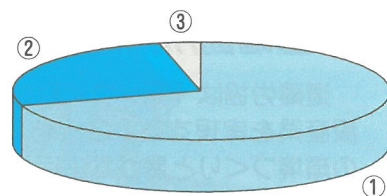
ご存知ですか

①知っている

②聞いたことはある

③知らない

①	②	③
114	43	6



我々道建労協としては、ご協力頂いたアンケート調査を元に、加盟単組への周知はもちろんのこと、日本建設産業職員労働組合協議会と協力し、「無報酬業務を解消するために」また「契約内容の明確化」、に向けて公共工事発注者に意見発信していきたい。

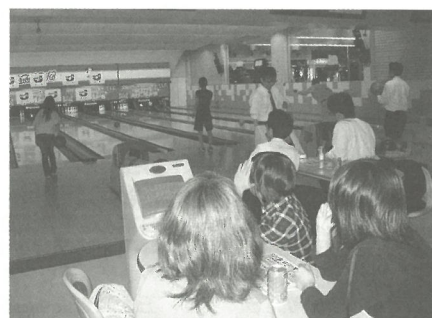
中部地協 潮干狩り・ボウリング大会開催報告

5月18日（日）に知多半島の奥田北海岸にて建設連合愛知、三菱UFJニコス労組と共催にて潮干狩りを行いました。当日は天候にも恵まれ、浜辺は潮干狩りを楽しむ参加者であふれかえっていました。毎年恒例の行事ということあり、慣れた方は浜辺でバーベキューをして楽しんでいました。また、子供を対象にした魚のつかみ取りも行われ、家族でも楽しめる行事となりました。

また、5月28日（水）には中部地協単独レクとして名古屋市内のボウリング場にてボウリング大会を行いました。参加総数は昨年と同じく24名（内女性参加者は7名）で6チームに分かれて行いました。みなさん、束の間、仕事を忘れてゲームを楽しまれました。ゲーム終了後は表彰式（ちなみに団体部門の優勝はNIPPO労組さん）を兼ねた懇親会を行い、それぞれの健闘を讃え合うとともに単組間の交流を深めました。

このように中部地協は活発に活動を展開しております。是非、皆さんもご参加下さい。

道建労協中部地協 事務局長 杉山 陽一（前田道路労働組合）



関東地協幹事会合宿開催報告

平成20年5月30日～5月31日、福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズにおいて道建労協関東地協の「幹事会合宿」を開催いたしました。

当日は、本部より渡邊副議長に参加していただき、6単組計9名の参加となりました。

実は、幹事会合宿は関東地協としては一昨年ぶりの開催で、今回で二回目となります。

前回行った合宿での議題「若年者の組合離れの防止」につながるものとして、今回の議題は「若年職員の離職防止」とし、各単組としての取り組み、問題点等が話し合われました。

若年層の「建設業離れ」が進んでいるという厳しい現状の中で、建設業、特に我々「道路建設産業」を若年層に対しに魅力ある産業にするかについて、そして離職防止の取り組みについての活発な意見が飛び交い、今後組合活動を行っていく上で、とても参考になりました。

また、幹事会合宿を開催する事により、関東地協内の各幹事との結束をより一層強くする事が出来たと思われます。

正直なところ関東地協の予算にも制約があり毎年開催するのは厳しいのですが、今後ともこのような会を継続して開催し、関東地協および各単組の活動を活性化していきたいと考えております。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

関東地協 幹事 高島 力（大林道路職員組合）



土曜閉所推進運動アンケート調査のお願い

道建労協は「モノづくりを通じて社会に貢献し、魅力ある道路建設産業を実現する」ことを基本理念として、「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」を目指し活動しております。

現在、企業間競争の激化は留まるところを知らず、さらに顧客のニーズの多様化に対応した業務負担の増大により、一斉土曜閉所が困難な状況になっております。当協議会としては、総労働時間の短縮を基本とした柔軟性のある閉所を図る取組として、6月及び11月を「強調月間」と位置付け、実質的な休日取得の増加を目指し、加盟単組各社・道建労協関係機関に協力要請を行うとともに、組合員への浸透を図っております。

その取組の実態調査として「土曜閉所推進運動アンケート」を行います。当アンケート結果は、次回11月の「強調月間」の取組にあたって、企業及び関係機関を訪問する際の説明資料となると同時に、今後の改善の指標となる、重要な意味を持っております。皆様のご協力をお願い致します。

休む意識の第一歩、みんなで取り組む

「土曜閉所」



6月は土曜閉所強調月間

道建労協では6月、11月を強化月間としています。

土曜閉所推進運動

道建労協の能力にむけて建設労務（建設産業労働組合連合会）の中心とともに取り組んでいます。建設労務（建設産業労働組合連合会）は、日本建設産業労働組合連合会（日建連）と全労連、全電工労連、建設労連、建設労連（建設産業労働組合連合会）でも土曜日の労働時間短縮を推進するなどの目標を掲げています。

物知りクイズ

いよいよ8月8日から、北京オリンピック17日間の熱い戦いの火蓋が切って落とされます。日本人選手の活躍はいかに！？
28競技302種目、4年に1度の祭典を十分に堪能しましょう！
そこで、皆様ご推薦の通り、オリンピック問題です・・・

Q1 最初は基本です。五大大陸を表す五輪旗で、次の5色の内、実際に五輪旗に無い色は何色でしょうか？

1. 黒
2. 茶
3. 赤
4. 緑

Q2 おさらいです。前回2004年アテネオリンピックにおいて、日本のメダル獲得数は、全202参加国・地域中、第6位でした。さて、何個のメダルを獲得したでしょうか？

1. 22個
2. 25個
3. 37個
4. 42個

Q3 ブチ知識です。長い五輪の歴史の中で、最年少メダリストは7歳から10歳の、フランス少年でしたが、最年長のメダリストは何歳でしょうか？ちなみにスウェーデンの射撃の選手です。

1. 47歳
2. 54歳
3. 61歳
4. 72歳

Q4 知ってるようで、知らないものです。オリンピックにおいて第一公用語は？一般的に「教養人の資格」と言われている言語です。

1. フランス語
2. 英語
3. 中国語
4. イタリア語

Q5 最後です。東京都は2016年オリンピックの招致活動をしてありますが、前回（1964年）の大会時、東京と最後まで候補地を争ってない都市は？

1. デトロイト
2. ベルリン
3. ウィーン
4. ブリュッセル

物知りクイズ当選者

PAVE第73号「物知りクイズ」は新年号という事もありお正月にちなんだ問題が出題されました。最近の年末年始は働く事をやめない企業も多くなり、昔みたいに正月に食材が手に入らない事はまず無くなりました。昔ながらの良き風習を肌で感じる為にも、初日の出に手を合わせ、餅をつき、鏡餅を作っておせち料理を食べながらのんびりと正月を過ごしてみたいですね。みなさんも来年は自分なりの「心のゆとり」を感じながらお正月を過ごして見てはいかがでしょうか？

今回の当選者は6名となりました。当選者の方々には粗品をお送り致します。ご応募有り難うございました。

前回の答え

Q1 ③ 富士山頂

Q2 ② 代々幸せに暮らせませう or ① 代々栄えますように

Q3 ② お餅

Q4 ③ 数の子

※Q2について、正解は2番ですが、正解者が1名でありましたので、1番と回答された方も含め当選対象といたしました。

当選者

佐伯 慶朗	（東京舗装工業社員労働組合）
奥山 義朝	（東亜道路労働組合）
有吉 秀一	（NIPPO労働組合）
伊藤 次男	（NIPPO労働組合）
阿部めぐみ	（前田道路労働組合）
高橋 俊彦	（前田道路労働組合）

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 8/8（金）
- 宛先 〒141-8665

東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051

E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は9月発行の予定です。

編集後記

気が付くと早いもので、新年度に入り早くも四半期が過ぎました。

私は「新しい年度になったらこれをやろう」という強い意志のもと、計画を立てます。計画といってもそんな大きな事ではなく、小さい事からですが・・・。みなさんはいかがでしょうか？何かに向かって計画を立てていますか？目標に向かって行動する事は重要であり、その達成感を味わうことは喜ばしいことです。

ところが自分に甘い私は、忙しい事を盾に、ついつい先延ばしにしています。今年も四半期が過ぎて一向に計画通りに進んでいないのが現状です・・・。

しかし、まだ四半期です！まだ取り返しはつきます。そこで私は、一念発起し、無理なく目標を立て、地道にコツコツと少しずつ行動することにより、いずれ大きな目標の達成につながると考えました。行動をしないと実現には近づきません。私と同じような境遇にあるあなた！今日から、出来ることから少しでも進め、目標達成に向け、共に頑張りましょう！

大林道路職員組合 渡邊 恵好